

# 平成 30 年度 第 3 回あま市公共施設等 総合管理計画策定委員会 議事要旨

平成 30 年 10 月 19 日（金）  
午前 9 時 30 分から 11 時 30 分まで  
本庁舎 3 階 特別会議室

## 1 出席者等

出席者等（委 員）	10 名
（事務局）	5 名
（傍聴者）	3 名

## 2 議 題

（1）あま市公共施設再配置計画（素案）について

### 【あま市公共施設再配置計画（素案）について】

（説明要旨）

○進捗状況によって内容が変わったものや、前回の会議までに修正を行ったものを含めて計画素案について説明。

### 【主な質疑等】

（委員）

○統合するひまわり作業所には 30 名のキャパしかないが、現在は 60 名いるため、受け入れられない。民間に移るとのことであったが、市内に障がい者向けの B 型事業所は 3 箇所あるが、2 箇所は精神のみ、残り 1 箇所は受け入れられるのは 1 名程度とのことであったため、市外へ求めることとなる。再配置計画では、言い方は悪いが、切り捨てとなる。何度か意見交換の場を持ったが、市長に直接話して、再配置により空いた施設で確保するとの回答を得た。先週の話なのでまだ反映されていないと思うが、このまま進められては困る。

（会長）

○民間でできない部分は、市でやる必要がある。障がいを持たれると一生のこととなるため、需要が減ることは少ない。施設としては老朽化しているため、複合化という中で確保していけると良い。学校も少子化により、必要となるスペースも減っていく。教育委員会の中では、合併以降も全施設を残す方向で考えていくこととしている。複合化によって融通し合う必要もあるが、たくさんの施設は持てないため、どこかで被っていただく必要もある。

(座長)

○時間が無くて間に合わなかったということであれば、どう直すかという方向性を示して欲しい。

(事務局)

○これまでも意見を聞きながら進めてきたが、足りなかった。意見交換後のアンケートなどでも今のところに残りたいという人も多い。統合することが最良の案と考えていたが、民間の施設での受け入れが難しいのであれば、見直していきたい。他の施設の中に入れることも考えてきたが、民間の受け入れや誘致を進めていくことも示していきたい。

(委員)

○新しく作って欲しいとは思っていないが、空いたスペースで確保されるようにして欲しい。あま市で進めている地域福祉計画との矛盾があり、問題である。

(委員)

○25%縮減を達成するためには、学校の施設を何とかしないといけない。南部地区の学校を有効活用していきたい。学区再編は、合併後から議論が続けているが、ハードルが高い。七宝地区の学校に複合施設化することが考えられる。宝小学校と秋竹小学校、七宝北中学校までを小中一貫も含めて考える必要があるほど、子どもの数は減ってきている。第Ⅰ期に具体化に向けて検討していかなければならない。佐織養護学校に通っている子もあま市で受け入れられるといい。

(座長)

○反映していくべきだと考えるが、定員を受け入れられるかどうか。再配置の図に矢印で具体的に書けないかもしれないが、文章等で表現することはできないか。

(事務局)

○調整も必要であるが、できる限り反映していきたい。

(座長)

○少し文章を直すという形で良いか。

(事務局)

○教育分野の方の意見も聞いていく。

(委員)

○キャパを確保するということを入れてもらえると安心できる。

(事務局)

○くすのきの家の跡地に民間を誘致することを当初は考えていた。民間に任せられるのが理想ではないか。それができない場合の考えということになる。

(委員)

○解体してしまったら、その間はどうするか。20年前には重度の子が通える施設が無く、通える施設を法人格を取って、作った。愛西市は社協でグループホームを2つ作っている。障がい者が安心して生活できることは、高齢者も安心できるということにつながる。

(座長)

○理想案に向けて、現実的なことも書いていく必要がある。

(事務局)

○将来的に今の計画通り進むと不安があるということで、切り捨てると捉えられないように、総合的に判断する。

(座長)

○次回に素案を出すということでお願いしたい。

(委員)

○歴史民俗資料館をあま市として美和において、分室という形で七宝小学校、甚目寺小学校においてはどうか。スポーツレクリエーション施設で、七宝体育館を公民館と複合施設化とあるが、小学校の体育館も昼間に貸し出すなどの事例がある。小学校を統廃合するにしても、体育館は防災面で残すということも考えられる。

(事務局)

○統廃合した場合でも避難所を代替するよう考えていく。

(委員)

○教育相談センターは、適応教室や教師や生徒の相談を受けている。元の保健センターであり、部屋が多いため、うまく活用できている。甚目寺会館から坂牧に移すことを考えているが、七宝、美和でも増えているため、対応して分散してもらえると良い。教育委員会の中でも考えている。

(事務局)

○事務局としては、七宝地区にも近くなるよう坂牧の方に移すことを考えたが、今後も考えたい。

(座長)

○学校に他施設を複合化としているところに作業所を入れることも可能か。

(委員)

○教員は、他の人が入ってくることを嫌うが、コミュニティスクール事業を来年度からは全校に広げることになっている。地域に開かれた形にして、抵抗感を無くしたい。子育てと福祉は受け入れやすい。昔に比べてスペースが空いていることは間違いない。安全・安心が確保されていることは前提だが、必要なことであるため、教職員に対しても理解してもらえよう働きかけている。

(委員)

○西部地域においても、学校に他施設を複合化と表記してはどうか。

(委員)

○西部はキャパが小さいため、難しいかもしれない。

(事務局)

○グラウンドも含めて狭いため、建替えも不安がある。

(座長)

○書いていくかどうか、ご検討をお願いしたい。

(委員)

○体育館の複合化ということも良いが、複合化の問題点は、イベントが重なった場合、管理が大変ということがある。美和地区にはスポーツ施設が無く、美和公民館も無くなると、利用者は学校へ移ることになる。そういった中で甚目寺と七宝で二つ要るのかという問題もある。メインアリーナとサブアリーナを備えた一つの体育館とすることも良い。一宮市では大きな体育館を作って、市民が使えないため、もう一つ作ったということがあった。同じ規模のものを二つ作るというのも良くない。

(座長)

○次の段階として、市民の使い勝手の良い施設としていく必要がある。ワークショップなどで決めていくということは書いても良い。

(事務局)

○一宮ではシティプロモーションという観点もあるかもしれない。現在、学校の体育館もかなり使われている。そういったところで我慢してもらうところも出てくるかもしれない。

(委員)

- 保育園を民間に譲渡できない可能性もあり、公立をバランスよく残して欲しい。  
障がいのある方も普通に過ごせるようになると良い。学校は雰囲気が暗いため、  
明るい施設になると使いたい方も出てくるのではないかな。

(事務局)

- 圏域が重なる甚目寺地区を中心に公立を減らすことを考えている。

(座長)

- 二次評価が最終評価の近くにあると、間違いやすい。

(事務局)

- 以前にも同様の指摘があったため、消すことも考えたい。

(座長)

- 別冊にすることも考えてはどうか。

(事務局)

- それも含めて対応を考えたい。

(委員)

- 縮減効果の検証で、統合 25%、複合化 30%について、数字の根拠はどのように  
に考えているか。

(事務局)

- 統合して2倍になっては意味が無いため、1.5倍に抑えるという目標という面  
もあり、複合化は、全ての施設を面積で計算しているわけでは無いが、一般的  
にロビーなどの共用スペースが30%程度と言われており、実際には個々で考  
える必要があるが現実的では無いため、30%と設定した。

(委員)

- 24.7%縮減で目標を達成したということになるか。

(事務局)

- ほぼ達成していると考えている。

(委員)

- ゆとりを持った計画として欲しい。

(委員)

○学校に福祉施設を入れるということは本当に良いので、是非とも実現して欲しい。

### 【その他について】

(事務局)

○シンポジウムを 12/16 に開催する予定であり、パネルディスカッションを行うため、委員の中から 4 名程度にパネリストとして参加していただきたいと考えている。その事前打合せを 11 月 13 日（火）9 時 30 分頃から行う予定である。希望者は連絡をいただきたい。足りない場合は、こちらからお願いするため、ご協力をお願いしたい。

(座長)

○パネルディスカッションにして欲しいという意見を出したのは私で、市民参加の一環として、講演ではなく、委員さんに語っていただくことで市民に響く計画となる。

○次回の委員会は、2 月 4 日（月）9 時 30 分からを予定している。